

- 一 問一 ① 隣席 ② つ（めない） ③ 標識 ④ 実践 ⑤ 依拠

問二 イ e ロ a ハ d ニ b ホ c

問三 都市の公共空間において「すぐ近くにいるが、関わり合わない」、「見えているが、あまり見ない」、「近くにいるが、気にしない」といった人々がとる態度で、相手を認知しつつ、適切な距離を取り、過度に踏み込まない態度がマナーとして尊重されているためだけの「無関心」や「無視」とは異なるもの。

問四 視覚

問五 bとf

問六 （非公表）

問七 現代日本の都市交通の静かさや人びとの抑制されたふるまい、あるいは満員電車での忍耐強さは、海外から称賛されることもあれば、奇妙なものとして皮肉交じりに批判されることもめずらしくなく、そうした海外の視点で語られた「奇妙さ」が日本社会において参照され、公共交通のふるまいの理解に影響を与えることもあるということ。

- 二 問一 ① えとく ② 覆（う） ③ 担（って） ④ 膨張 ⑤ 甚大

問二 イ 腑に落ちて ロ 意を汲んで／意を汲み ハ 時々刻々／時々刻々と ニ 暗黙のうちに
ホ 悦に入り

問三 ① c ② e

問四 a c

問五 ① c ② b e f g ③ d ④ a（完全回答）

問六 我々は空の明るさの場所ごとの違いを見ており、大半の暗い場所には何もなく、明るい場所には何かがあると解釈する。その無数の小さな領域で光っている何ものかを「星」と呼んでいるということ。

問七 ダークマターは自ら光は発せずとも万有引力が働くから、周りに存在する光る天体の運動には観測可能な影響を及ぼす。したがって、それらの運動を正確に解析することによって発見されたということ。

- 問八
- I b 絶対
 - II b 絶対
 - III a 相対
 - IV b 絶対（完全回答）